

令和6年度「防災と水環境」連続講演会

豪雨のタマゴとタネを捉える

2024年7月19日(金) 9:50-11:50

山口弘誠

京都大学防災研究所准教授/信州大学工学部特任准教授



豪雨災害が頻発しており、豪雨の予兆をいち早くかつ正確に捉えることが今まさに求められています。最新の気象観測機器を用いたフィールド観測実験や、現在開発を進めている次世代の数値予測モデル開発を紹介し、近未来の実用化を目指したゲリラ豪雨および線状降水帯の予測研究の最前線について話題提供します。さらに、豪雨制御という挑戦的な取り組みについても紹介します。

会場開催とウェビナー配信の2方法で実施します

会場 信州大学長野(工学)キャンパス (長野市若里4-17-1)

ライブ配信 ZOOMウェビナー (500名まで)

申込み締切 講演日前日の17:00

事前登録サイト

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_VxTSFGhUR90HEadb655t4w



主催：信州大学工学部水環境・土木工学科、信州大学工学部流域治水研究センター

後援：公益財団法人西原育英文化事業団、信州大学地域防災減災センター

CPD: 土木学会継続教育(CPD)認定プログラム【JSCE24-0751, 2.0単位】

建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者は各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。土木学会で証明する単位が各団体のルールにより認められないことがあります。土木学会では他団体の運営するCPD制度に関しては回答いたしかねます。

問合せ：信州大学工学部水環境・土木工学科 吉谷純一
yoshitani@shinshu-u.ac.jp

